

第60回西高祭実施 5年ぶり飲食物企画再開 笑顔の輪広がる

千西一遇

第117号
発行
2024年
7月26日(金)
上田西高 校会
新聞委員 編集局
編集局長：田村さくら
新聞委員長：金井 茉優
大田すみれ
佐藤雪路
小林さざり
塚田礼
齋藤慈生
レイアウト：田村さくら



第60回西高祭開祭式での開祭宣言の様子

7月6日(土)、7日(日)の2日間、第60回西高祭が実施された。第60回という節目となった今年度の西高祭は「Snap Shot〜世界に繋げる笑顔の輪〜」というテーマで行われた。コロナウイルスの影響で実施されていなかった飲食企画が再開し、一般公開には多くの人が来場した。各クラスの企画も大盛況となり、西高祭は大成功を収めた。(金井 茉優)

今年のテーマは「Snap Shot」 「写真を通して世界と繋がる」

第60回という節目を迎えた今年度の西高祭は「Snap Shot」世界に繋げる笑顔の輪」というテーマで行われた。世界中で災害や戦争が絶えない今、私たちにできることは写真を通して笑顔を広げていくこと。そんな現状を受け、西高祭の2日間で1人1人のたくさんの笑顔を作り出したいという思いがこのテーマに込められている。

西高祭実行委員長の坪根夢歩さんは「全校の皆さんへのアンケートにあった繋がりや笑顔を世界中に届けたい」という思いをもとに、写真という意味を持つ Snap Shot を

テーマに選んだ」とテーマが決まった経緯を話した。また、西高祭の2日間について「テーマに見合った企画で作り出した笑顔から少しでも世界中に私たちの思いが届いていたら嬉しい」と答えた。新型コロナウイルスの影響が少なく、一般公開では1606名と多くの人が来場した。昨年度まで規制されていた飲食企画が再開された。世界中で様々な出来事が起きる中で、前を向いて新しいことに挑戦したいという思いと、パワーアップした西高祭を作り上げたいという思いから

文化学園長野コラボ 中夜祭でファッションショー披露

2年前から行われている文化学園長野中学・高等学校との交流。今年度の企画では、お互いの学校の文化祭に役員が参加し、伝統文化を披露し合った。上田西高は生徒会太鼓の発表をし、文化学園は中夜祭の企画の一環



中夜祭で行われた文化学園によるファッションショー



文化学園で披露した生徒会太鼓

西高祭実行委員会副委員長若林里咲さんに、文化学園での太鼓の演奏について感想を尋ねたところ、「他校での演奏は初めてで貴重な経験だったため、いつもとはまた違った緊張感があったけれど、いい発表になった」と話した。今回この企画を



調理を行っている様子

飲食物企画再開が決まった。飲食物企画の責任者を務めた竹森心美さんは「過去の実施の記録が少ないうちで、感染症予防と本来の文化祭を行うことのバランスを考えながらの実施が大変だった」と話した。飲食物企画が増えたことで今年度の西高祭はさらなる盛り上がりを見せた。(金井 茉優)

行って良かった点として「昨年度は「コラボ商品の販売で直接的な交流ではなかったが、今年は実際にお互いの学校に行き文化祭の様子を見て学ぶことができた」と振り返った。また、「文化学園では全校生徒が集まるので太鼓の演奏だったが、西高では中夜祭での発表だったため、自由参加という形になり、全校生徒に見てもらったことができなかった」と反省点を語った。

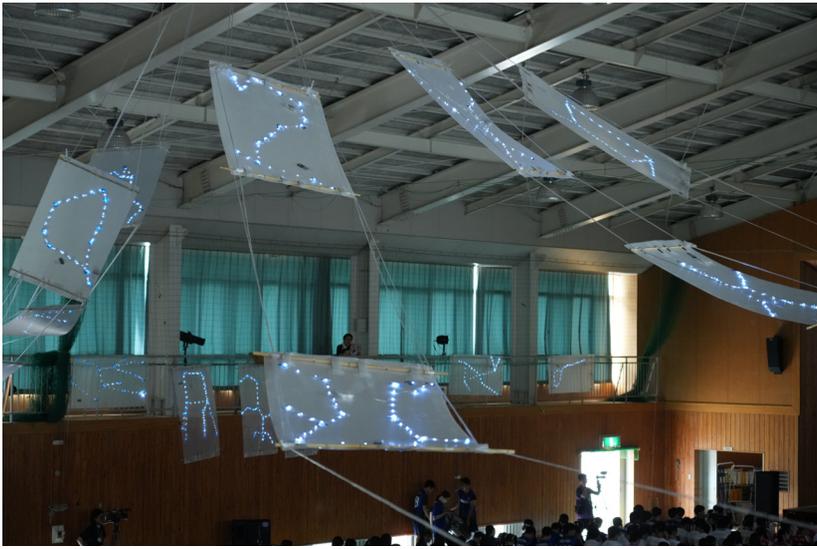
来年の文化祭では、伝統的に行われるこの交流企画を受け継ぎ、今回の反省点を活かしたさらに良い企画が行われることに期待が寄せられる。

(小林 せい)

メイン企画「プラネタリウム」 夜空を再現繋がり表す

開祭式では今年度の西高祭のメイン企画となるプラネタリウムが披露された。今年度の文化祭のテーマである「Snapshot」世界に繋げる笑顔の輪とにちなみ上を見上げた人に笑顔になって欲しいという想いに加え、星をを通して世界を意識してほしいという想いが込められこの企画が実施された。

プラネタリウムは体育館上に設置されており、生徒からは「体育館が暗くなった時に本物の星みたいに見えるのが最高」という想いが込められこの企画が実施された。



体育館上部に設置されたプラネタリウム

PTAと協働し熱中症対策図る

平年に増す猛暑が予想された文化祭1日目、開祭式の際に熱中症対策のため全校生徒の椅子の上には凍ったペットボトルの水が置かれた。

これはPTAから資金提供を受け実施されたもので、昨年度ではPTA単体で行なっていたペットボトル配布が今年度は生徒会と協働で実施されたものである。

例年では西高祭オリジナルのつわが配布されていたが使用率が少ないということが懸念され、ペットボトルの配布となった。

熱中症対策を担当した生徒会役員の増澤ゆなさんは「開祭式は全校が密集して暑くなるのが予想されたので凍ったペットボトルを配布することにより熱中症対策を促す事ができるのではないかと考えた」と話した。

実際に厳しい暑さとなった西高祭では配られた水を口にする生徒の姿が見られた。生徒からは「ペットボトルの水が配られたことで積極的に熱中症対策が



椅子の上に置かれたペットボトル

全校で作り出す All Smile Shot



開祭式の最後に撮影された全校の集合写真

「Snapshot」世界に繋げる笑顔の輪と掲げられた第60回西高祭。このテーマにちなんだ企画「All Smile Shot」が2日間の文化祭で実施された。

新型コロナウイルス感染症が緩和され5年ぶりに全校が体育館に集まる事ができた開祭式では全校の集合写真が撮られ西高祭への意気込みを寄せるメッセージボードに掲示された。また、生徒会役員が校内を回りながら生徒に声を掛け西高祭を楽しむ姿を写真に記録し、その写真の中から厳選された100枚を用いたスライドショーを後夜祭にて鑑賞した。

この企画で写真やメッセージボードを通して多くの生徒や先生方の笑顔を目にすることができ、生徒からは「普段はできない役員さんとの関わりが持て、全校にどんな笑顔が増えていった良かった」との声が聞かれた。開祭式では普段は

また、全校生徒だけでなく文化学園の方など来場された方々が書き込む様子も見られメッセージボードは色鮮やかに彩られた。

この企画を主催した西高祭実行委員長の坪根夢歩さんは「全校の笑顔をとたくさん見ることができた。開祭式では普段は



メッセージボードに書き込む生徒

石川支援企画 「もう一度支援の取り組み広げたい」

西高祭の2日間生徒会では、能登半島地震を支援する企画が行われ、2日目には鵬学園との交流会が開かれた。鵬学園とは3月にボランティア活動で石川県を訪れた際に交流し、現在も関係が続いている。

鵬学園からは6名の生徒が来校して講演会を行い、もし長野県で大きな地震が起きた際に少しでも多くの人の被害状況を軽減できるよう身を起こした体験を「生の声」として長野県に住む私たちに

伝えることができた。山手智也生徒会長は、「もう一度支援の動きを盛り上げたい」とこの講演会の目的について話し、「来てくれた人に真剣に聞いてもらえてよかった」と当日の様子を振り返った。

また、石川県の特産品を販売し、得た利益は全て支援金として募金された。物販する商品は鵬学園生徒会長の石川秀馬さんが提案してくれたそうだ。石川さんは「地元で流れているCMや保護者世代の方々がよく買っ



鵬学園による講演会の様子

品物などを提案した」と話した。物販された商品はほとんど完売となり支援への関心の高さを感じた。

能登半島地震から半年が経った今でも被災地ではまだ復興が追いついていない現状にある。この企画を機にもう一度支援の取り組みを広げ被災地へ笑顔を届ける必要がある。

（金井 茉優）

第60回西高祭受賞団体一覧

クラス企画

- 最優秀賞 3年8組
- 優秀賞 (展示) 3年5組
- 優秀賞 (飲食) 3年2組
- アイデア賞 3年1組
- テーマ賞 3年6組
- 生徒審査賞 3年3組
- PTA賞 3年4組

クラブ企画

- ステージ部門 最優秀賞 吹奏楽部
- 優秀賞 書道部

- 展示・飲食部門 最優秀賞 茶道部
- 優秀賞 華道部

- カラオケコンテスト優勝 成田悠真さん
- ポスター賞 大田莉子さん
- 校門アーチ賞 南雲遥さん 古谷日和さん 中山心結さん

最優秀賞は3年8組が受賞

今年度、西高祭の最優秀賞に輝いたのは3年8組の「かまじいタピオカはじめました。」となった。誰もが知るジブリキャラクターのオブジェを作成し、たくさん写真を撮ってもらえるような場所を

設置することで西高祭のテーマである「Snap Shot」を表現している。また、タピオカを販売し、その売上を台湾地震で被災した方々へ募金をすることで台湾の方々を



最優秀賞発表の瞬間

3年8組のルーム長の中山颯人さんは「クラス全員が土日など、自分の時間を削って準備してきた努力が報われて本当に良かった」と感想を述べた。さらに、「来場していただいた方々に褒めてもらい、嬉しさと達成感をとても感じられた」と文化祭だからこそ学べたことも話してくれた。オブジェを動くようにしたり、キャラクターを忠実に再現することが準備期間の中でいちばん大変だったそうだ。タピオカがすぐに売り切れてしまっほぐ多くの人々が来場し、同時にオブジェを楽しむ姿が見られた大好評の企画となった。

(佐藤 雪路)



中庭企画で盛り上がっている様子

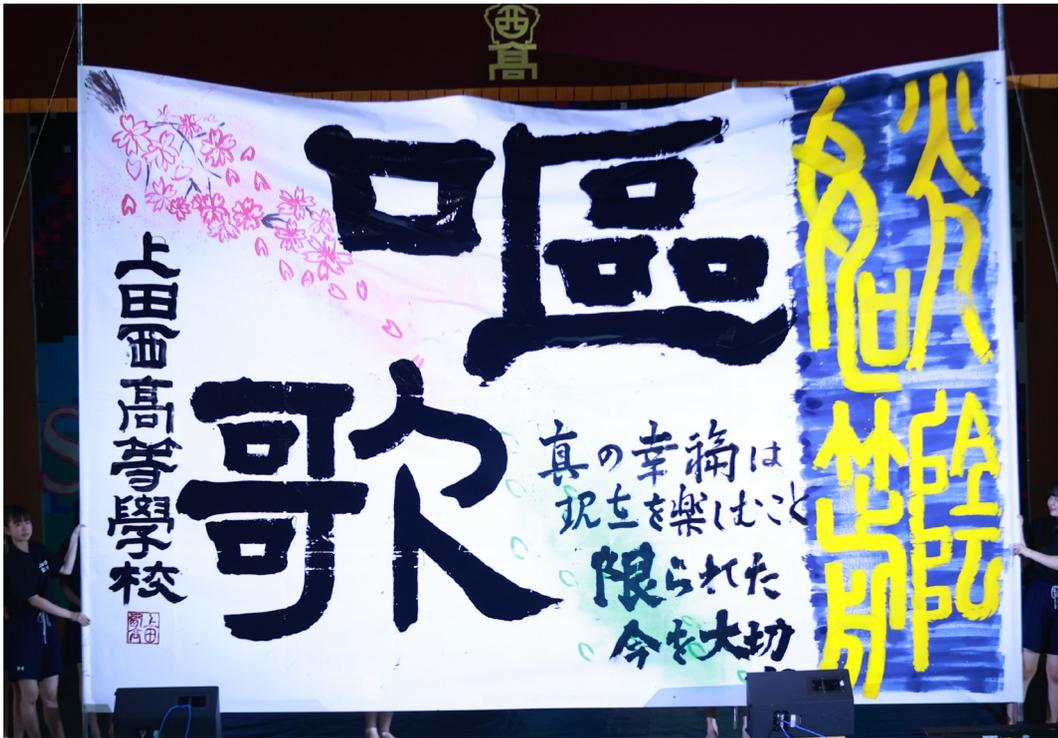


前夜祭で行われた軽音楽部によるテーマソング演奏

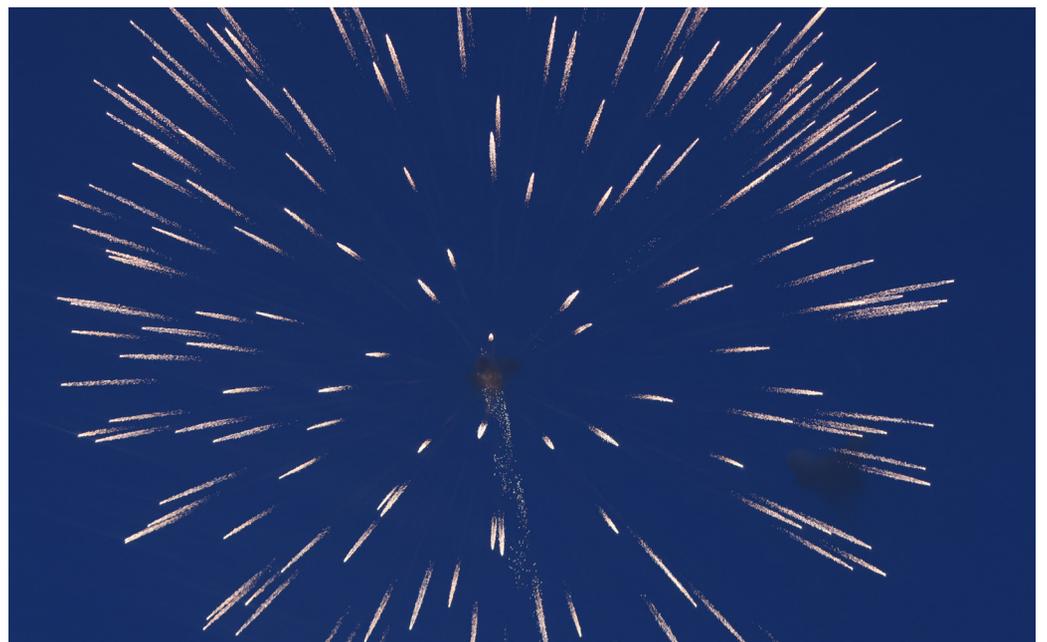


カラオケコンテスト優勝者歌唱





体育館企画で行われた書道パフォーマンス



後夜祭ラストを飾った花火



第 60 回西高祭スタッフ



後夜祭で行われたアーチェリー部のファイヤーストーム点火